

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 27 日 (2020.2.27)

【公表番号】特表 2019-503261 (P2019-503261A)

【公表日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-005

【出願番号】特願 2018-539937 (P2018-539937)

【国際特許分類】

A 4 7 G 29/00 (2006.01)

A 4 7 G 1/17 (2006.01)

【F I】

A 4 7 G 29/00 E

A 4 7 G 1/17

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 1 月 20 日 (2020.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔軟なバッキングの長尺シートであって、

第 1 の端部と、

第 2 の端部と、

前記第 1 の端部に隣接して位置する第 1 の区域と、

前記第 2 の端部に隣接して位置する第 2 の区域と、

前記第 1 の区域と前記第 2 の区域との間に位置する中央区域と、

を備える柔軟なバッキングの長尺シートと、

前記柔軟なバッキングのシートの一方向の面に配置された接着剤層と、

前記中央区域に接続されたフック要素と、

を備え、

前記柔軟なバッキングが、微細構造テープを備え、

前記接着剤層が、1 つ以上の炭化水素ブロックコポリマーを有する感圧接着剤と、極性フェノール粘着付与剤と、を備える、

可撓性フックハンガー。

【請求項 2】

前記柔軟なバッキングの長尺シートのパネルは、前記中央区域が、前記中央区域自体に対して中に折り曲げられて中央フラップを形成し、かつ前記第 1 の区域及び前記第 2 の区域が、前記中央フラップから外に折り曲げられて接着パネルを形成するように、折り曲げられた、請求項 1 に記載の可撓性フックハンガー。

【請求項 3】

前記柔軟なバッキングの長尺シートは、前記可撓性フックハンガーが、前記接着剤層により表面に接着されたとき、少なくとも 2 つの剥離フロントを与えるように折り曲げられた、請求項 2 に記載の可撓性フックハンガー。

【請求項 4】

前記中央フラップが、フック要素を受け入れるためのループを形成する遠位折り目を含み、

前記フック要素が、  
前記ループ内にあるバーと、  
前記バーに接続されたパッドと、  
タブから延びるフックと  
を備えるバックル構造を備え

前記遠位折り目は、前記フック要素の一部分が中を通して延びる開口を含む、請求項 2 に記載の可撓性フックハンガー。

【請求項 5】

前記中央区域が、前記柔軟なバックリングのパネル同士の間で平面フック要素を受け入れるように分割され、

前記中央区域の前記第 2 の面が、前記第 2 の区域に向かって付勢するように前記中央フラップを誘起するために、前記中央区域の第 1 の面に対する予め誘起された応力を含む、請求項 2 に記載の可撓性フックハンガー。

【請求項 6】

柔軟なバックリングの長尺シートであって、

第 1 の端部と、

第 2 の端部と、

前記第 1 の端部に隣接して位置する第 1 の区域と、

前記第 2 の端部に隣接して位置する第 2 の区域と、

前記第 1 の区域と前記第 2 の区域との間に位置する中央区域と、

を備える柔軟なバックリングの長尺シートと、

前記柔軟なバックリングのシートの一方の面に配置された接着剤層と、

前記中央区域に接続されたフック要素と、

を備え、

前記第 1 の区域及び前記第 2 の区域のうちの少なくとも 1 つが、剥離防止部を含む、可撓性フックハンガー。

【請求項 7】

長尺ストリップ及び剥離防止部を形成する柔軟なバックリングのシートと、

前記柔軟なバックリングのシートの一方の面に塗布された接着剤層と、

フック要素と

を備え、

前記柔軟なバックリングの前記長尺ストリップが、

前記フック要素が接続された中央フラップと、

前記中央フラップの両側に前記接着剤層のための少なくとも 2 つの剥離フロントを形成する 2 つの接着区域であって、前記剥離防止部が、前記接着区域のうちの少なくとも 1 つから延びる、2 つの接着区域と、  
を形成するように折り曲げられた、  
可撓性フックハンガー。